

全国初!

令和6年 11月 19日
北九州市環境局

太陽光パネルの大量廃棄問題を解決し 再エネ導入を加速する『北九州トライアングルモデル』を構築 地場企業と連携協定を締結します

北九州グリーンインパクトの取組の一環として、北九州市(市長:武内 和久)、株式会社浜田(代表取締役:濱田 篤介)、株式会社新菱(代表取締役社長:土山 正明)は、北九州市においてカーボンニュートラル及びサーキュラーエコノミーを目的とした連携協定を締結することとなりました。

太陽光パネルの大量廃棄は 2030 年半ばから増加し、いずれは全埋立てごみの 5%が太陽光パネルになると予測され、また再生可能エネルギー導入も国の目標として、現在の 1.6 倍の導入量が必要と言われております。このモデルは、まだ実績の少ないリユースパネルを積極的に導入したい北九州市が、高レベルなリユース・リサイクル技術を持っている地場企業とタッグを組むことで、再エネ導入と資源循環の課題を一挙に解決する全国初のモデルです。

以下のとおり、連携協定式を開催しますので、ぜひご取材をお願い致します。

記

1. 日時 2024年11月25日(月)13:10-13:45
2. 場所 北九州市役所 4階 記者会見室
3. 締結者 株式会社浜田 代表取締役 はまた とくすけ 濱田篤介
株式会社新菱 代表取締役社長 つちやままさあき 土山正明
北九州市長 武内和久
4. 内容
(1)武内市長 挨拶・説明
(2)株式会社浜田、株式会社新菱 挨拶
(3)質疑応答
(4)協定締結
(5)記念撮影
5. 本件に関する関連情報
別紙資料をご参照ください。



【問合せ先】環境局再生可能エネルギー導入推進課
村上(課長)、銭花(係長) 電話:093-582-2238